

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 21 日作成)

小委員会名	CA 技術小委員会	主 査 名：井上 文宏 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (建築生産運営委員会)	委員長名：早川 光敬 主 査 名：武藤 正樹
設 置 期 間	2017 年 4 月 ~ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築生産の自動化技術、システム技術などの研究開発の啓蒙・促進を行う。 ・第 22 回建築の自動化技術シンポジウム (2019 年 2 月予定) ・第 18 回建設ロボットシンポジウムの企画・開催 (2018 年 9 月、建築学会、土木学会、ロボット学会等と共同開催)	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：	
	主査：井上文宏 (湘南工科大)、幹事：中村聡 (東急建設)、幹事：深瀬勇太郎 (清水建設)、 椎名國雄 (東海大学)、眞方山美穂 (建築研究所)、鈴木信也 (戸田建設)、森直樹 (大成建設)、 関原弦 (フジタ)、羽田芳朗 (富士通)、土井 暁 (大林組)、神山和人 (竹中工務店) 成瀬 忠 (前田建設)、中村隆寛 (鹿島建設) 13 名	
設置 WG (WG 名：目的)	WG 名：次世代建築施工ロボット調査 WG 目的：近年、建築現場では労働力不足や作業員の高齢化が大きな課題になり、作業のロボット化や自動化、ICT による効率化や省力化への期待は大きい。しかし、実際の建築施工にロボットや ICT を導入し、効果的な成果を上げるためには、技術的な開発と共に導入に向けた整備や安全性、ロボット規格と性能評価など、施工側と開発側が一体となった調査が必要である。本 WG では建築施工に関わるロボットや ICT を対象に各種の調査を行い、実際の施工現場で有効となる指針や提言を行うこととする。	
2018 年度予算	9,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	参加者数 名
催し物	1. 第 22 回建築の自動化技術シンポジウム (2019 年 2 月 1 日開催予定) 参加予定者数 70 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 第 18 回建設ロボットシンポジウムを他学会・協会と共同で開催した。 2. 第 22 回建築の自動化技術シンポジウム (2019 年 2 月 1 日開催予定) では、論文発表 9 件、特別講演 2 件 (文化財の IT 化技術への応用、機械学習を用いた社会インフラ診断の自動化) の講演を行い、建築施工の展望を議論した。
委員会活動の問題点・課題	

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。